

週間漁海況情報 2025年第37号

令和7年9月16日発行

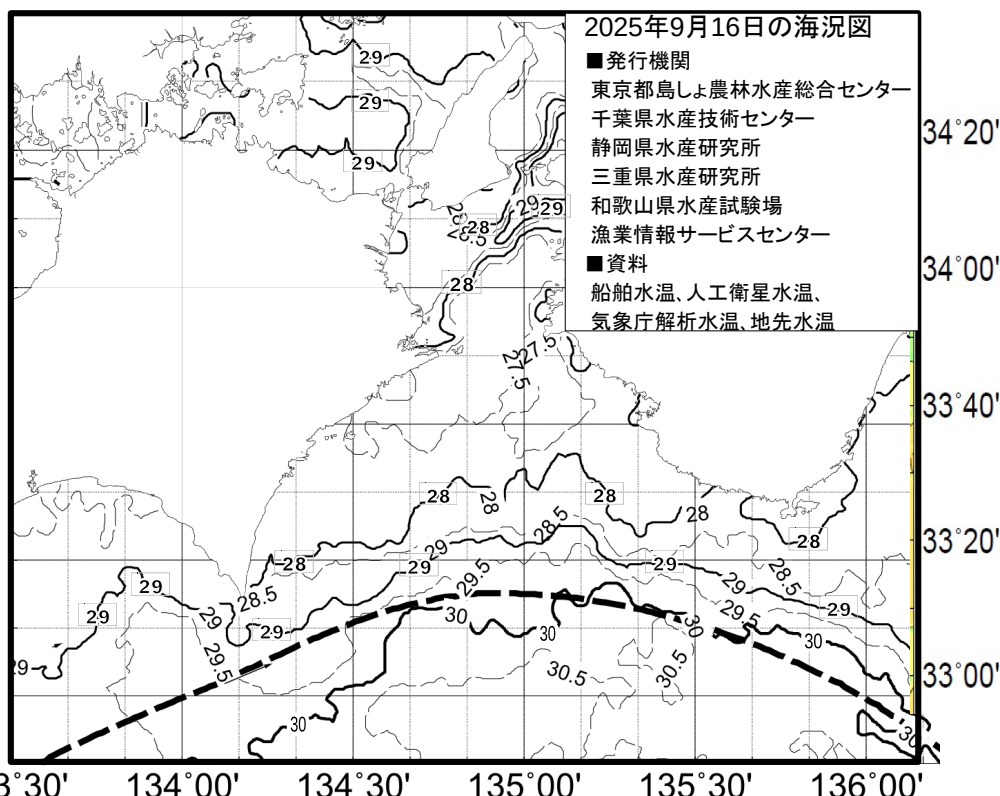
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖35マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「やや離岸」している。

黒潮の表面水温は29～30℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で28～29、紀伊水道で27～28、海部沿岸で27℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

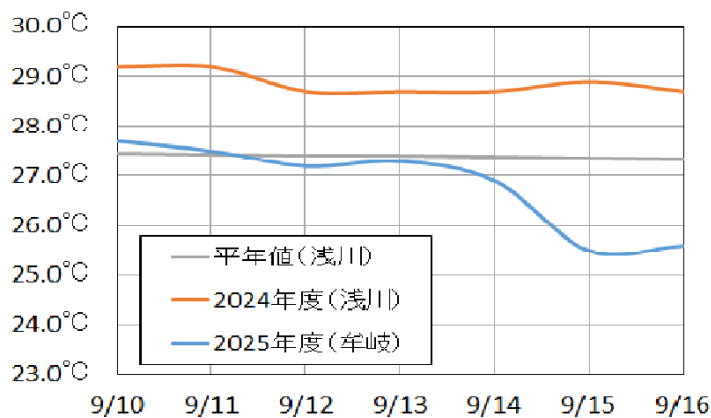
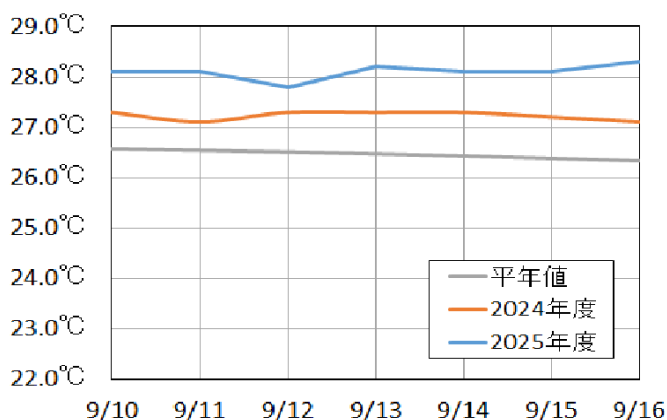
2. 地先水温(9月10日～9月16日 浅川地区は水温計故障のため牟岐地区の水温を用いた。)

鳴門地区の水温は、27.8～28.3℃で「やや高め」から「高め」で推移。牟岐地区は、27.7～25.5℃。

鳴門と牟岐地区の水温差は、-0.4～-2.7℃だった。

鳴門地区

牟岐地区(昨年度と平年値は浅川地区)



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(9月17日～9月23日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「やや離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「高め」で推移する見込み。

漁況

(9月8日～9月14日)

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

船びき網では、シラスが減って23.2ト水揚げされた。

延縄では、ハモが中主体に3ト、あまだい類が増えて0.8ト、

サワラが減って0.4ト水揚げされた。

底びき網では、イボダイが増えて5.7ト、ハモが増えて中主体に2.3ト、

えそ類が大きく減って0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが豆あじ級主体に5.9ト、マサバが増えて小小主体に1.1ト、

ふえふきだい類が大きく増えて大主体に0.6ト、マルアジが減って小主体に0.4ト、

メイチダイが大きく減って0.1ト、カンパチが大きく減って0.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

延縄では、あまだい類が0.3ト、キダイが大きく増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が大きく減って0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	74	シラス	23,220	314		↘
	延縄	44	ハモ	2,985	68	中主体	→
		44	あまだい類	759	17		↗
		15	サワラ	358	24		↘
	底びき網	24	イボダイ	5,715	238		↗
		18	ハモ	2,345	130	中主体	↗
		25	えそ類	349	14		↘↘
	小型定置網	21	マアジ	5,877	280	豆あじ級主体	→
		11	マサバ	1,069	97	小小主体	↗
		13	ふえふきだい類	557	43	大主体	↗↗
		20	マルアジ	432	22	小主体	↘
		19	メイチダイ	149	8		↘↘
		12	カンパチ	113	9		↘↘
海部沿岸	延縄	10	あまだい類	305	31		→
		5	キダイ	183	37	大主体	↗↗
	小型定置網	5	かます類	205	41		↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘